

# 授業改善 3つの強化ポイント2017 (体育・運動領域, 保健体育・体育分野編)

## ①児童生徒の学習意欲を高める課題の工夫



- ◆豊かなスポーツライフの実現に向けて「**体育の楽しさ**」を十分に味わえる学習内容にします。
- ◆単元の目標に即して本時ではどのような力を身に付けるのかを明確にし、前時の流れを生かした必要感のある学習課題を設定することが大切です。何をするのがはっきり分かるようにします。→**運動量アップ!**

例) 小学校第6学年「ハードル走」

**本時の目標** 自分に合った易しい場において、インターバルを決まった歩数で、最後まで走り越すことができるようにする。(技能)

**学習課題** 「自分に合ったインターバルを決まった歩数で、最後まで走り越そう」

体育の楽しさ		その運動の持っている楽しさ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動く楽しさ</li> <li>・できる楽しさ</li> <li>・経験する楽しさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかわる楽しさ</li> <li>・認められる楽しさ</li> <li>・役割を果たす楽しさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知る, わかる楽しさ</li> <li>・工夫する楽しさ</li> <li>・自己決定する楽しさ</li> </ul>	
<b>技能</b>	<b>態度</b>	<b>知識, 思考・判断</b>	

もっとやってみたい!



## ②考えを広げ深める対話的な学びの充実



- ◆体育・保健体育では、称賛、励まし、教え合い、作戦等、授業のあらゆる場面で友達とかかわり合いながら学習を進めていきます。そのためにもかかわり合える雰囲気づくりが大切です。
- ◆児童生徒主体の学び合いを実現するためには、知識や技能の習得、運動の場の工夫、運動の取り組み方の工夫、視点を明確にした教師の言葉がけが大切です。

あいさつ、円陣、握手、ハイタッチなど、かかわり合える雰囲気づくりを!

### 態度の指導内容

- 【愛好的】
- 【公正】【協力】
- 【責任】【参画】
- 【健康・安全】



課題の解決に向けて

### 知識や技能の習得

教えることと、考えさせる内容を区別する事が大切です!

- ・単元のゴールの姿を見据え、段階的な指導を行う。
- ・基礎的な感覚と基本的な動きを身に付けられるようにする。

### 運動の場の工夫 運動の取り組み方の工夫

児童生徒の実態に合っていることが大切です!

〈場を工夫した例〉

フリーシュートゾーン



1辺が1m程度の正方形

- ・シュート機会の保障
- ・得点チャンス拡大

〈ルールを工夫した例〉

- ・攻撃側に人数的な優位性を持たせる。(チームがボールを保持したら1名が入り、守備側は1名コートの外に出る)

### 視点を明確にした教師の言葉がけ

『ボールの方向に体を向けて両手でボールを受けていたね』

よい動きを共有することで作戦を立てやすくなります。

『パスをつなぐためにはどんな動きが必要かな』

児童生徒にとってわかりやすい発問をし、課題解決のイメージが持てるようになります。

★資料, 作戦盤, ICT, オノマトペ等で具体的に示し共有します。

☆説明を聞く時間や話し合いの時間を適切に設定し、運動量を確保しましょう。

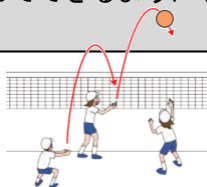
## ③学びを自覚し、次につながる振り返る活動の充実



- ◆学習課題に整合したまとめをし、学んだことを全員の財産となるようにすることが大切です。次時の学習内容に生かします。
- ◆狙いに合わせてがんばった児童生徒や本時で初めてできるようになった児童生徒を紹介し、価値付けることで、次への意欲につなげます。



ボールを受けやすいように高いボールでつなぐとうまくいきました。



そのためには、素早く動くことがポイントだね! 次, やってみよう!

